

2024年度

環境経営 レポート

(活動期間：2024年4月～2025年3月)



®環境省

エコアクション21

認証・登録番号：0003694

作成：2025/5/26

JFE鋼材株式会社 鋼材加工事業部 横浜事業所 磯子工場

工場長 水島 淳一

1. 環境方針

環境経営方針

・ 経営理念

JFE鋼材株式会社 産機事業部 横浜事業所はかけがえない地球環境の保全が、企業経営の重要課題の一つであると考え、持続可能な循環型社会形成に寄与出来る事業活動を目標とします。

・ 環境経営目標

1 環境経営の基盤として、環境マネジメントシステムを構築し、適切な運用により継続的改善を図り、環境負荷の削減に努める。

当社事業を取り巻く状況は QCD 向上のご要求が一層高まる一方、販売競争の激化が継続していく。よって事業活動及び当工場の製品が与える環境負荷と取組みの成果を的確に把握、以下の活動を実施することで QCD 向上に繋げる。

- ① 設備改善（老朽更新）による 省エネ、品質向上、納期短縮
⇒ 《検討事案》溶接機更新に伴う省エネ化
- ② 製品輸送（配車）方法見直しによる 輸送効率化
⇒ まとめ出荷による輸送車両数削減
- ③ 熟練工化（技能向上）による効果的な稼働の実現
⇒ 不適合製品発生率の減少、省エネ設備、工法の活用

2 環境関連法規及び当社当工場が同意した各種協定を遵守します。

3 業務の遂行に当って環境保全に関する目標を設定し、取組結果を見直す事により継続的改善に取り組んでいきます。

4 全従業員に対し、この環境経営方針の周知徹底を図り、環境教育を計画的に行い、環境保全活動の定着、向上に努め、環境行動計画及びその実施状況並びに環境関連情報を「環境経営活動レポート」に取り纏め公表します。

制定：2008年1月7日

改定：2025年4月1日

JFE鋼材株式会社 鋼材加工事業部 横浜事業所 磯子工場
工場長 水島 淳一

2. 事業の概要

1) 事業社名

JFE鋼材株式会社 鋼材加工事業部 横浜事業所 磯子工場
工場長 水島 淳一

2) 所在地

〒235-8505 横浜市磯子区新磯子町3番地

3) 環境保全関係の担当者・連絡先

環境管理責任者 齋藤 聖次

連絡先 Tel: 045-757-6176 FAX: 045-757-6185

E-mail: sh-saito@jfe-kozai.co.jp

4) 事業所の規模

活動規模	単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
生産量	トン	9,308	8,100	8,185	8,191	8,313	5,180
従業員	人	31	34	35	30	42	42
床面積	m ²	6,762	6,762	6,762	6,762	6,762	6,762

5) 事業内容（認証、登録範囲）

磯子工場
I) 溶断加工（産業機械、建設機械、鋼構造部材等の製造）
II) 機械加工（油圧機器用マニホールドブロックの製造）
III) 溶接加工（産業機械、建築の溶接構造体の製造）

主要加工設備
I) レーザー切断機、NC溶断機、開先加工機、プレス矯正機、
プラズマ切断機
II) 五面加工機、横中ぐり盤、MC、平面研削盤、ボール盤
III) CO2アーク溶接機、交流アーク溶接機、TIG溶接、ポジショナー

6) その他の事業所（認証・登録対象事業所外）

(1) 本社

総務部・管理部・資産経営部・経営企画部・技術部・品質保証部・営業総括部
所在地：東京都中央区八丁堀四丁目10番4号
事業内容：本社管理組織

(2) 鋼材加工事業部 横浜事業所（総務室・横浜営業部・商品技術室）

所在地：横浜市磯子区新磯子町1番地
事業内容：鋼材加工事業

(3) 鋼材加工事業部 東京事業所

所在地：千葉縣市川市塩浜一丁目14番地
事業内容：鋼材加工事業

(4) 鋼材加工事業部 大阪事業所

所在地：大阪府大阪市住之江区南港東九丁目2番48号
事業内容：鋼材加工事業

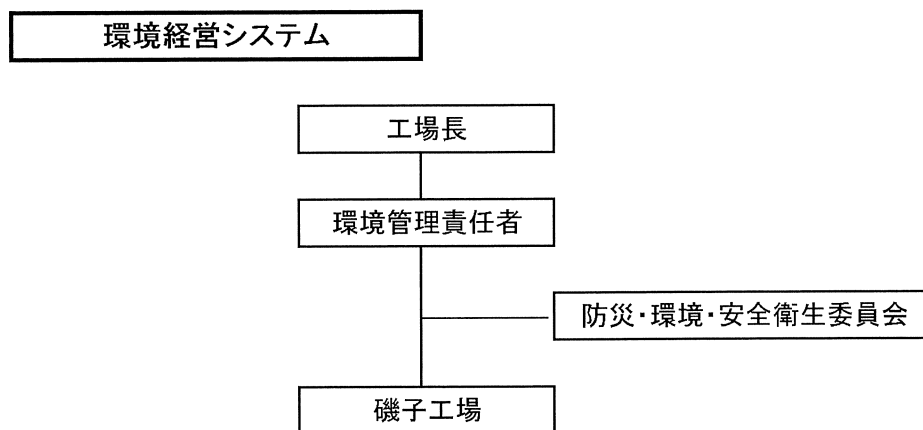
(5) 鋼材加工事業部 名古屋事業所

所在地：愛知県名古屋市中川区福船町二丁目1番地
事業内容：鋼材加工事業

- (6) 鋼材加工事業部 東北事業所
所在地：宮城県仙台市宮城野区港一丁目1番21号
事業内容：鋼材加工事業
- (7) 鋼材加工事業部 中国事業所
所在地：広島県福山市新浜町一丁目5番35号
事業内容：鋼材加工事業
- (8) レベラー事業部 レベラー事業所
所在地：千葉県市川市千鳥町6番地
事業内容：鋼板せん断事業

3.実施体制

エコアクション21環境経営システムを構築、運用し、環境への取り組みを実施するために各自の役割、責及び、権限を定め、全員に周知している。



役職	主な責任及び権限
工場長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を定め、環境管理責任者を任命する。 当該責任者には現在の責務に関係なく環境経営システムを運用・維持管理する責任と権限を明示する。 ・環境経営目標、実施計画の承認。 ・実施体制の構築 ・環境経営システムの実施・運用のための経営諸資源を準備する。 ・環境マニュアル及び規定類の制定・改訂の承認。 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境マニュアル及び規定類の制定・改訂の承認。 ・環境管理委員の任命。 ・環境経営システムの見直し。 ・是正、予防処置の指示。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・防災環境安全衛生委員会を運用・維持管理する責任として環境経営システムが全て部署で確実に実行維持される為の必要な活動の管理と推進をする。 ・環境経営活動レポートの作成。

4. 認証、登録の対象範囲について

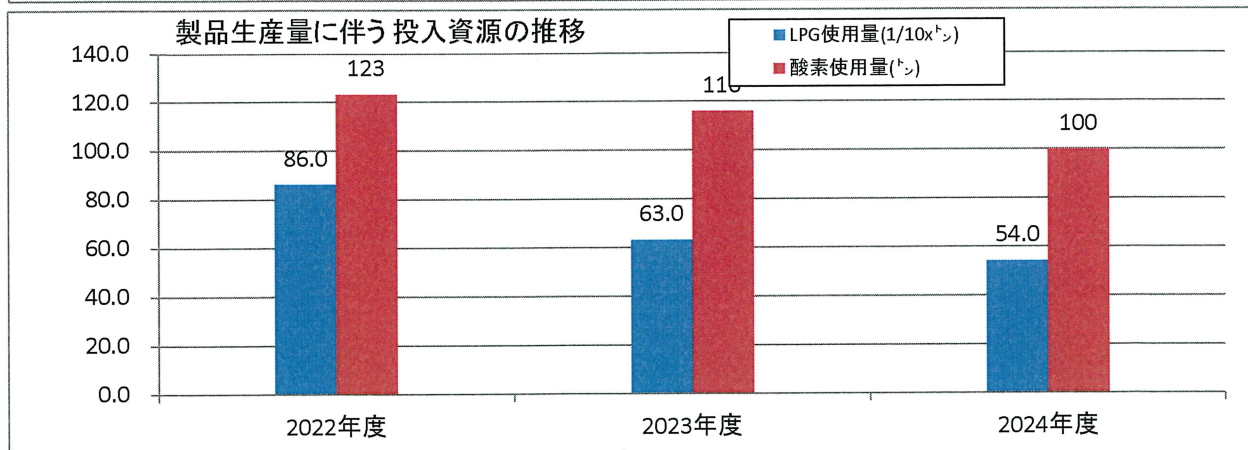
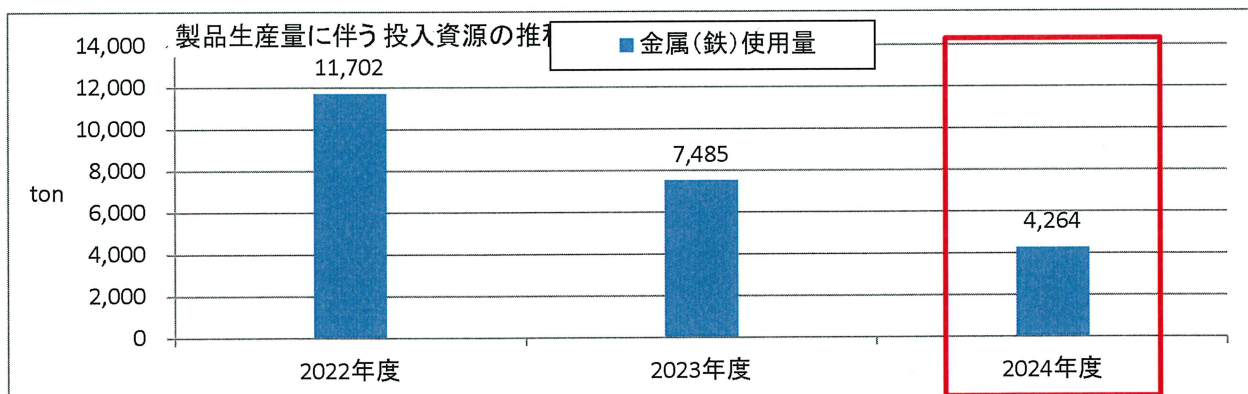
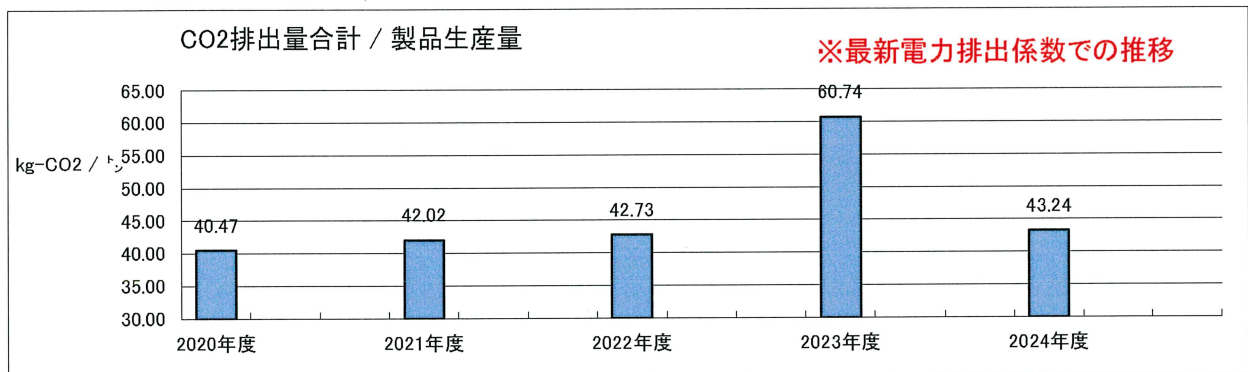
対象範囲は横浜事業所 磯子工場限定 の為、2018年度より サイト認証を取得。

5. 環境への負荷の現状

		単位	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
総製品生産量	製品生産量(A)	トン	9,308	8,100	8,185	8,191	8,313	5,180
CO2排出量	電力使用量	kWh	808,386	722,641	751,441	754,813	686,689	529,185
	換算CO2排出量	kg-CO2	352,456	315,071	327,628	329,098	295,276	207,441
	化石燃料使用量	MJ	367,668	271,080	276,616	436,130	323,180	276,385
	換算CO2排出量	kg-CO2	22,018	16,200	16,571	26,131	19,377	16,555
	CO2排出量合計(B)	kg-CO2	374,474	331,271	344,199	355,229	314,653	223,996
	B/A	kg-CO2/トン	46.23	40.47	42.02	42.73	60.74	43.24
投入資源	金属(鉄)使用量	トン	12,011	9,151	7,202	11,702	7,485	4,264
	LPG使用量	トン	7.2	5.4	5.4	8.6	6.3	5.4
	酸素使用量	トン	118.0	109.7	107.8	123.1	115.7	99.7
	CO2使用量	kg	5,490	5,160	8,520	10,440	6,360	6,030
	上水使用量	m ³	1,000	795	791	859	854	802
廃棄物排出量	再生利用	kg	22,860	9,637	27,142	8,192	15,111	22,588
総排水量	下水道	m ³	1,000	795	791	859	854	802

2023年度 購入電力調整後排出係数 0.392

※電力会社はアーバンエナジー(株)



6. 環境負荷低減等の為の目標

*2019年度以降は、【電気・LPG・酸素】使用量を前年実績の0.5%削減、【CO2・上水・廃棄物】使用量・発生量を前年同数値以下を基準目標とする。

環境目標	具体的実施項目	対象職場	基準値 (2023年 度実績)	2024年度				2025 年度 目標	中、長期 (2023-25年度) 目標 (前年度比)
				年度目 標	年度実 績	評価	達成度		
CO2排出量 削減	電気使用量削減 単位:kWh/トン	全職場	84.9	84.5	102.2	②	79%	101.7	-0.50%
CO2排出総 量(kg-CO2)	化石燃料使用量削減 単位:kg-CO2/トン	全職場	2.343	2.33	3.160	②	64%	3.14	-0.50%
投入資源 削減	LPG使用量削減 単位:kg/トン	全職場	0.781	0.777	1.040	②	66%	1.035	-0.50%
	酸素使用量削減 単位:kg/トン	全職場	14.317	14.25	19.240	②	65%	19.144	-0.50%
	CO2使用量削減 単位:kg/トン	溶接	4.699	4.699	4.699	③	100%	4.699	同数値
	上水道使用量削減 単位:m ³ /トン	全職場	0.110	0.110	0.102	③	107%	0.102	同数値
廃棄物 削減	再生化不可スクラップ削減 単位:kg/トン	全職場	13.88	13.88	13.34	③	104%	13.34	同数値
	鋼材以外の廃棄物削減 単位:kg/トン	全職場	4.15	4.15	6.05	②	54%	6.05	同数値
再資源化 率向上	鋼材スクラップ再資源化向上 単位:%	全職場	90.8	91.3	93.9	③	103%	94.4	+0.5%
	鋼材以外再資源化向上 単位:%	全職場	82.9	83.3	83.9	③	101%	84.3	+0.5%
化学物質	把握と削減 単位:トン/年		0.001	0.00	0.001	第一種指定化学物 質 0.5トン/年以下		0.5トン/年 以下	
グリーン購入	積極購入の推進				エコマーク商品の積極購入を推進			推進	

【評価基準】 ⑤:目標を完全に達成(達成率150%以上)④:目標を十分に達成(達成率120%以上)
③:目標を達成(達成率80%~119%) ②:改善の余地あり(50%~79%) ①:未達成 見直しが必要(50%未満)

7.環境経営計画の取組状況と評価

1) 目標達成の為の取組と評価

取り組み項目	2024年度 活動状況
電気使用量削減 1) 無人状態での電気、空調の電源offの徹底 2) 空調適温化(冷房28℃、暖房20℃)の徹底 3) クレーン主電源の管理徹底 4) コンプレッサー更新及び漏洩管理の徹底 5) 冬季デマンド値の低減 6) 電力推移の監視強化、特定設備(レーザー)の監視	・厚生棟照明無人感知化、終業後の設備、照明の消し忘れ確認(パトロール実施) ・生産稼働中と休止のメリハリ促進 ・インバーターコンプレッサーへの更新(プラズマ) 漏洩点検による稼働休止状態の維持 ・生産量に合わせた集約稼働促進
LPG使用量削減、酸素使用量削減 1) 集合装置及び配管の定期的な保守管理による漏洩防止管理 2) ガス溶断設備のホース交換工事	・月例点検(リークチェック漏洩防止促進) ・ホース経年劣化による漏洩の未然防止
CO2使用量削減 1) 装置及び配管の定期的な保守管理による漏洩防止の徹底 2) バルブ、ホースの日常管理による漏洩防止管理 3) 溶接ワイヤー当りCO2使用量把握 4) 夏季集合装置圧力管理の徹底	・月例点検(リークチェック漏洩防止促進) ・溶接ワイヤーのバック化継続(使用量抑制)
上水道使用量削減 1) 手洗い場、トイレの流水量管理の徹底(節水) 2) 水を流し放しで使用しない 3) 配管、蛇口等の水漏れの定期点検の実施	・洗濯機の使用制限時間を設定 ・手洗い、シャワー室の節水推進、一部洗面台蛇口の自動化
鋼材スクラップの削減 1) 歩留の向上 2) 標準作業順守による不良品の撲滅	・スケッチの見直し(産機向リピート品見直し) ・スクラップ在庫の情報開示 ・他社転売促進(残材再利用)
その他産業廃棄物の削減 1) 分別回収の徹底(一般ごみ、古紙等) 2) 缶、ペットボトルは自販機回収ボックスに必ず入れる事 3) 産業廃棄物の分別回収(置き場明示、保全)	・5S活動の強化(毎週水曜日5Sデー実施) ・古紙回収日の分別回収 ・古紙分別回収は協力業者に継続協力依頼 ・ダンボールリユース継続(機械職場)
化学物質の把握と削減 1) 対象物のSDSの確認 2) 取扱い量の確認	・床面塗装を水性塗料に切替(継続)
グリーン購入の推進 1) エコ商品の積極的購入	・事務用品、消耗品を中心に推進。 購買担当者意識付け
地域活動	・工場周囲の草刈り、ならびに清掃実施。

2) 2024年度 計画と実績

環境目標	対象	目標値	上段:実績値、 下段:達成度評価①50%未満、②50%~79%③80%~119%④120%以上⑤150%以上												平均達成度	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		平均
電気使用量 減量	全職場	82.2kWh/t以下	111.9	111.4	156.1	136.4	129.2	115.0	88.1	72.0	83.2	88.8	91.0	99.5	102.2	70%
LPG使用 量減量	全職場	0.754kg/t以下	1.01	1.22	1.37	0.00	1.70	1.11	0.96	1.65	0.83	0.90	0.87	0.89	1.04	62%
酸素使用量 減量	全職場	13.85kg/t以下	22.40	13.86	31.19	22.86	10.19	29.58	13.02	20.88	19.50	18.90	8.08	22.90	19.45	60%
CO2使用量 減量	溶接	3.76kg/t以下	3.76	3.93	5.85	6.96	5.78	8.28	13.04	7.06	5.78	6.74	6.67	5.27	9.68	11%
上水使用量 減量	全職場	0.102m ³ /t以下	0.139	0.174	0.189	0.232	0.269	0.169	0.148	0.122	0.126	0.136	0.116	0.135	0.16	41%
再生不可鋼材 スクラップ減量	全職場	17.42kg/t以下	0.00	158.64	8.72	0.00	7.16	7.14	0.00	5.67	0.00	0.00	0.00	0.00	15.61	110%
鋼材スクラップ再 資源化向上	全職場	91.3%以上	100.0%	38.1%	97.3%	100.0%	95.9%	97.9%	100.0%	97.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	93.9%	103%
鋼材以外廃棄 物減量	全職場	4.15kg/t以下	12.29	11.66	6.86	10.58	8.56	5.12	0.00	5.91	0.00	4.16	0.00	7.50	6.05	54%
鋼材以外廃棄 物再資源化向 上	全職場	44.0%以上	82.0%	79.7%	82.0%	82.0%	91.9%	46%	100%	82.0%	100.0%	78.8%	100.0%	82.0%	83.9%	191%

【評価基準】 ⑤: 目標を完全に達成(達成率150%以上) ④: 目標を十分に達成(達成率120%以上)

③: 目標を達成(達成率80%~119%) ②: 改善の余地あり(50%~79%) ①: 未達成 見直しが必要(50%未満)

3) 次年度の環境経営計画

- ・改善提案4件以上/年・人の提出を継続
- ・環境パトロールの強化、部門外(安健室)による定期巡回
- ・5S活動の推進及び強化(場内断捨離、5Sデーの継続実施)
- ・老朽設備の更新による節電効果推進(インバータ式溶接機への更新)
- ・まとめ出荷による配車数の削減と実行のための生産管理の徹底
- ・自動化促進によるクレームの撲滅と仕損じ品の減少
- ・生産性向上を目的とした設備保全の徹底。
- ・素材刻印の廃止による歩留まり向上

3) 結果の評価

以下に活動の評価を要約する。

環境目標	対象	目標値	実績値	達成率	評価
電気使用量の減量	全職場	前年比-0.5% 82.2kWh/t	102.2kWh/t	70%	②
LPG使用量の減量	全職場	前年比-0.5% 0.75kg/t	1.04kg/t	62%	②
酸素使用量の減量	全職場	前年比-0.5% 13.85kg/t	19.45kg/t	60%	②
CO2使用量の減量	溶接職場	前年同数値 3.76kg/t	9.68kg/t	11%	①
上水使用量の減量	全職場	前年同数値 0.102m ³ /t	0.163m ³ /t	41%	①
再生不可鋼材スクラップの減量	全職場	前年同数値 17.42kg/t	15.61kg/t	110%	③
鋼材スクラップ再資源化の向上	全職場	前年比-0.5% 91.3%	93.9%	103%	③
鋼材以外廃棄物の減量	全職場	前年同数値 4.15kg/t	6.05kg/t	54%	②
鋼材以外廃棄物再資源化の向上	全職場	前年比-0.5% 44.0%	83.9%	191%	③

評価基準 ⑤: 目標を完全に達成(達成率150%以上) ④: 目標を十分に達成(達成率120%以上)

③: 目標を達成(達成率80%~119%) ②: 改善の余地あり(50%~79%) ①: 未達成 見直しが必要(50%未満)
分母(t)は生産量を示す。

(考察)

①電気、LPG、酸素、CO2使用量削減(CO2排出量削減)

(電気)

- 電力使用量は2023年度対比20%増となったがこの評価指標は工場総生産量によるものとする。
特にNC溶断における電力使用量が2023年度より7.2%増加していることに対し生産量は10%減となっている。
その内容としては、製品単重量が小さくなっていることも大きいと考えている。

(LPG)

- 主にLPGを使用するガス溶断の生産量は2023年度対比で10%減少しており、LPGの使用量も比例して減少してもよいが、製品形態の小型化により切断回数は増えていると思われ、その影響により使用量の減量には繋がらなかったのではないかと考えている。

(酸素)

- 酸素もLPGの評価指標と同様であるが、工場内の配管、バルブ等の経年劣化による漏洩防止の管理徹底を図り更なる使用量の削減を目指す。(LPGにおいても同様)

(CO2)

- 年間評価は2023年度比11%と大幅な未達となった。

CO2は半自動溶接に使用されるものであるが2023年度生産量1693tに対し2024年度生産量は前年度比54%である。生産量が減少する分、CO2の使用量も減少するものと思われるが、個体製品に対しての溶接脚長にあまり変化が見られないため使用量の減少には繋がらなかったと考えている。

②鋼材クズの減量化と再資源化

- 再生できない鋼材クズ(ノロ)は溶断機の定盤清掃時のみ発生、その他は有価物として売却。
再生化スクラップは2023年度生産量8313^トが1585^トに対し2024年度は生産量5180^トで28.4^トと見た目上は有価スクラップの発生率減少のように見えるが、主にスクラップ発生のある溶断量は2023年度と比較して34%と減少している。溶断の切断量に対してスクラップ発生率が大きく減少したものである。
再生利用促進の残材製品化(しゃぶり)による歩留まり向上・可鍛コロ化・他業者への転売利用は活動継続中である。

③廃棄物の減量化と再資源化

廃棄物排出量は大幅未達

磯子工場から排出した産業廃棄物量は2023年度:34.5^トに対し2024年度:22.5^トと37%減少している。
しかし生産量も前年度比で37%減量しているため、前年度と同様の結果となっている。S社の受注量が2023年度と同様の比率のため木材パレットの廃棄物の減量に至らなかった。

- 鋼材以外再資源化率は191%と目標を達成できており、これは分別などによる適切な処分遂行の結果として評価できる。

④化学物質削減

- 磯子工場が使用した特定第一種指定化学物質含有銘柄はシンナーであるが2024年度の購入はゼロである
通路、床面用塗料は水性塗料に変更しており継続している。

⑤グリーン購入の推進(2024年度は目標化せず)

- 事務用品を中心に エコ、及び、再生品を優先に購入推進を行っている。
- 購買担当者の意識も高まっており、貢献している。

⑥地域活動

- 2024年度上期は磯子工場の作業員による沿道清掃を実施した。

8. 遵守する法規制一覧と遵守状況

当社に関連する主な環境関連法規制等には以下のものが挙げられます。(抜粋)

法律名	主な規制内容	遵守状況
横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理法等に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> 一般廃棄物処理委託 産業廃棄物処理委託 契約書の締結 マニフェストの発行、管理 契約業者、許可期限の確認 管理票交付状況の報告 	適切に管理
循環型社会形成推進基本法	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物のReduce, Reuse, Recycleへの努力 段ボール等のリユースは積極的に実施 	努力
横浜市生活環境の保全等に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> 特定施設届出 騒音規制基準の遵守 特定施設届出 振動規制基準の遵守 	適切に管理
高圧ガス保安法	<ul style="list-style-type: none"> 特定施設届出 特定設備検査 液面計(量)の把握 安全弁の定期点検 	適切に管理
消防法	<ul style="list-style-type: none"> 消防計画の策定(防火設備自主点検の実施、防災訓練の実施) 少量危険物貯蔵量の管理 	適切に管理
特定特殊自動車の排ガスの規制等に関する法律(オフロード法)	<ul style="list-style-type: none"> 特定特殊自動車排出ガスの規制 定期自主検査の実施 	適切に管理
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	<ul style="list-style-type: none"> 対象家電品目の管理 消費者の役割の遵守 	*対象物なし

環境関連法規制、その他要求事項への違反事項はありません。
尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 緊急事態対応

1) 防災・環境・安全衛生委員会、及び自衛防災隊は環境上の緊急事態を火災、津波と想定し、その対応策を定め定期的な訓練を実施する。

例年同様、磯子消防署指導の下、避難訓練、防災講話、救急救命及び磯子工場消火栓訓練を11/14に実施。

2) 長期休暇時の幹部社員の動向、緊急連絡先の周知。

安否確認訓練も定期的に関催(本社指導下)

10. 経営者見直し

1) 環境目標

- 各エネルギー使用量及び廃棄物排出量・再資源化率を引き続きデータ収集し監視する事。
- 評価が芳しくない項目について、見直しを検討する事。
- 地域活動、グリーン調達も活性化し、工場購買品も意識して購入する事。

2) 環境関連法規、外部からの苦情他

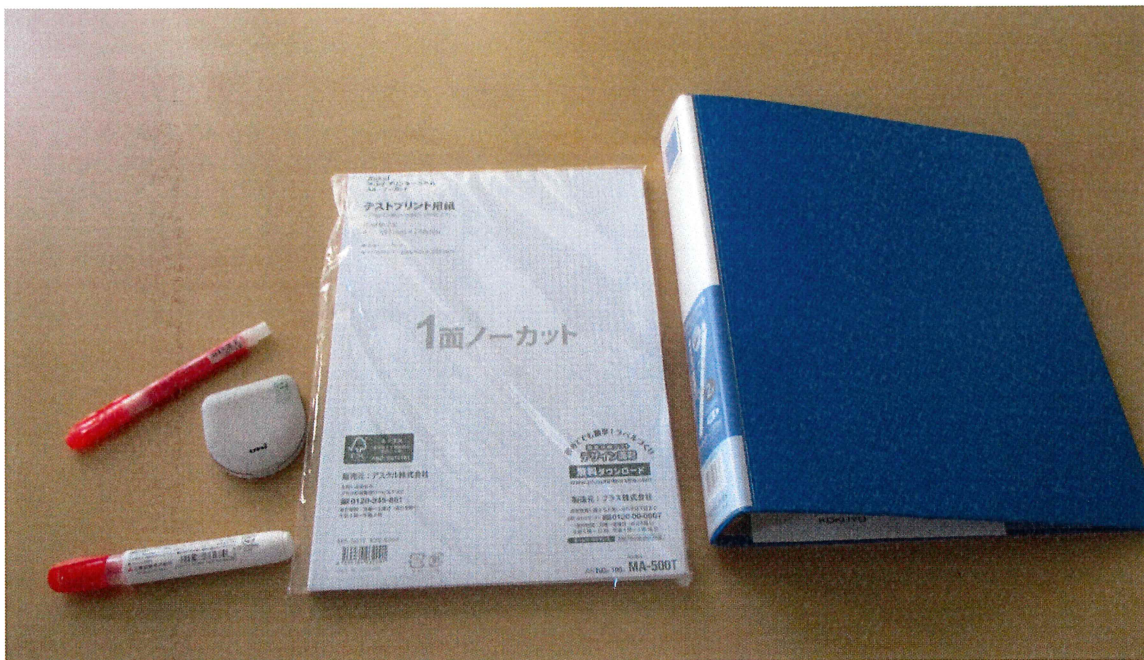
- 2024年度は 外部からの苦情、賞賛、その他はなかった。
- 一部需要家において エコアクション21活動により監査省略を受けている。
- その他 関連法規については遵守できている。

3) EMS運用について

- 他社の環境活動等情報を収集(ヒアリング、ホームページ閲覧)し、今後の活動に役立てていきたい。
- マニュアルは定期に見直し、実態に即したものにしていきたい。

以上

*グリーン購入 事務用品



作

